

# 秋川・神戸入口ボルダー

2016.3.14 rctK

北秋川と神戸川の合流地点である神戸入口周辺のボルダー。チャートと石灰岩が混在しており、様々な課題を提供してくれている。北秋川沿いは私がトライしていた当時とは様変わりし、道路側の植林が伐採されたため、非常に明るくなり雰囲気が一変している。しかし神戸川側は出合付近は伐採されたものの奥は以前のままであり、兩岸の樹木が覆い茂り、雨後の乾きが悪く苔が付きやすい。

この付近では最近トライするボルダラーもいるようなので、参考程度に私が昔登ったボルダーについて情報提供という意味でその中で幾つかを紹介しておきたい。

アクセスは、車利用が基本である。駐車は神大橋から暫く行った湧水がある道路左のスペースと、神戸側に少し入った左と障子岩に向かう林道のスペースに可能である。1日あちこち登るのなら、神戸園の有料駐車場も利用できる。電車バス利用の場合は、武蔵五日市駅からバスで「神戸入口」下車。バスの本数は少ない。アプローチは、総じて川通しは移動が難しいので、ボルダーに応じて各道路、林道の降り口から降りていく。



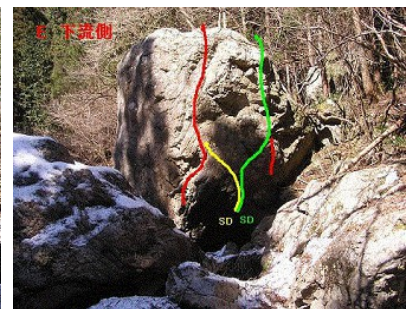
## 《課題紹介》

ここではE、G、N、R、Sのボルダーのみ紹介する。神戸のボルダーがハードすぎて抵抗がある人にとっては、初心者用からいろいろあって楽しめるが、必ずしも下地は安定していないのでマットは必ず持参されたい。

### ●E岩(上流側:左&下流側:右)

道路から良く見える大きなボルダー。高さがあるが見栄えが良いが、下地が悪いことが多く、流木が詰まったり、水没することが良くある。何回も整備したが、結局「元の木阿弥」というところである。

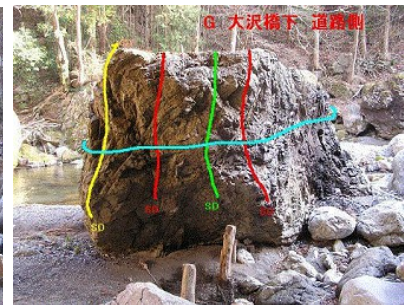
今はマットが全盛なので、難しい課題もトライできるのではないだろうか。



### ●G岩(下流側:左 & 道路側:右)

少し下流の大沢橋の真下にあるボルダー。

全天候型のボルダーとして期待していくと、結局雨が吹き込んで濡れていたり、結露していたりで登れないことが多かった。しかし苔は付きにくく少しぐらいの優しい雨なら大丈夫そうである。長いトラヴァース課題が面白い。



●N岩(下流側:左 & 上流側:右)

神戸川に少し入った所にある、上に壊れたバンガローが載っている大きなボルダー。

上流側のトラヴァースは面白いが、下地が少々不安定なので注意が必要。



●R岩&S岩

R岩は川から一段上がった所にある。S岩はその下の川底にある。そこそこの大きさで課題があるが、やはり陽当たりが悪く苔がまた繁殖してきている。

この周辺のボルダーは、林道側からの方が降りやすい。

